

*

計算機基礎実習II 2018

演習の取り組み方

この科目では、最初の1時間ほどの講義の後、実習回ごとに複数の課題が出題されます。

まず、**復習課題**と**基本課題**に取り組んで下さい。これらの課題は、友人やTAの力を借りずに自分だけの力で解くことを想定した問題です。ただし、書籍やオンライン情報などは自由に参照して構いません。**復習課題と基本課題の提出期限は、提示された実習回の終了時間までです。**

復習課題と基本課題が終了したら、残りの**演習課題**に取り組んで下さい。全ての復習課題と演習課題が終了しないと、演習課題の提出はできません。**演習課題の提出期限は、次回の実習開始前までです。**

演習課題は全て選択問題となっており、難易度によって問題ごとにポイントが付与されています。各回の実習で出題される全ての提出課題のポイント合計が**10ポイント以上**となるように **kiso2 コマンド**を使って課題を提出して下さい。各課題のポイントは **kiso2 コマンド**で確認することができます。

各課題は**間違っても提出が可能**です。各課題に実行例が示されている場合はそれらを参考にして、自分のプログラムが正しく動くことを確認してから提出して下さい。

kiso2 コマンドで課題が提出できる時間は**9時20分19:00**です。セルフラーニング室などの実習室を利用して、提出期限内に各回の10ポイントを満たすように各自で課題に取り組んで下さい。

提出期限を過ぎても課題の提出は可能です。ただし、遅れた期間に応じて提出評価にペナルティが課されます。提出期限内に提出できたかどうかは `kiso2` コマンドの各行の最後のマークで確認できます。

11月23日の夜に、これまでに `kiso2` コマンドで提出されたすべてのプログラムソースの簡易チェックを行いました。 `cc` コマンドでコンパイルを正常に完了できない提出プログラムについては、提出済み状態を却下し未提出状態としました。各自のこれまでの課題提出状況とプログラムソースを再確認してください。

今回のチェックでは、延べ100個程度の課題が却下されました。却下されたファイルのなかには、コンパイル後の実行ファイルを提出しているものも散見されました。お気をつけください。

なお、提出×切を過ぎてから提出された課題も評価対象とする予定ですので、提出を却下されて未提出となった課題についてもプログラムを再確認して提出し直すことを推奨します。

実習各回の予定と資料

実習回	日付	復習課題 / 基本課題	講義資料	演習課題
第1回	9月20日	-	PDF印刷用	ex00ex01
第2回	9月27日	rev01base02	PDF印刷用	ex02
第3回	10月4日	rev02base03	PDF印刷用	ex03
第4回	10月11日	rev03base04	PDF印刷用	ex04
-	10月18日	報恩講のため終日休講	-	-
第5回	10月25日	rev04base05	PDF印刷用	ex05
第6回	11月1日	rev05base06	PDF印刷用	ex06
第7回	11月8日	rev06base07	PDF印刷用	ex07
第8回	11月15日	中間試験		
第9回	11月22日	rev07base09	PDF印刷用	ex09
第10回	11月29日	rev09base10	PDF印刷用	ex10
第11回	12月6日	rev10base11	PDF印刷用	ex11
第12回	12月13日	rev11base12	PDF印刷用	ex12
第13回	12月20日			
第14回	1月10日			
第15回	1月17日	定期試験		

- Visual Studio Codeの使い方
- GUIからVisual Studio Codeを起動する
- paiza.io (オンラインプログラミング)(paiza.jp)
- 瀬田キャンパス実習室利用予定表
- 情報メディアセンター (瀬田Linux コマンド集
- Unix/Linuxコマンドリファレンス(日本語チートシート, PDF)
- 記号の読み方(中野)

4ta

From:
<https://www-slab.math.ryukoku.ac.jp/> - **www-slab.math**

Permanent link:
<https://www-slab.math.ryukoku.ac.jp/lecture/kiso2/2018/start?rev=1544506713>



Last update: **2018/12/11 14:38**